

# 七条中学校だより1月号

京都市立七条中学校

令和8年1月7日

発行：校長 林 秀雄

令和8年（2026年）謹賀新年

## 優先順位

明けましておめでとうございます。生徒の皆さん、保護者の皆様、地域の皆様が穏やかに新年を迎えられたことにお慶び申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

年末年始と何かと気ぜわしい日々が続く中、ついつい「時間がない」と心の中でつぶやく自分がいたのですが、そんな中、ある書物（「7つの習慣」スティーブン・R・コヴィー）に次のようなことが書いてありました。「バケツにまず大きな石を入れます。次に小石を入れます。もう何も入りませんか？ 隙間に砂利が入りますよね。さらにその隙間に砂が入ります。さて、これは何のたとえだと思いますか？」

我々がついつい、やるべき優先順位を誤ってしまい、つまらないことに多くの時間を費やしてしまうことがあります。「大きな石」とは自分にとって一番大事なことです。「小石」はその次に大事なことです。そして「砂利」「砂」と続きます。「最初に小石や砂利をバケツにたくさん入れたら、あとで大きな石は入らなくなる。だから大きな石を最初に入れなければならない」と。

自分にとって大事なことや「何のために」ということがはっきりしていることを優先順位の上位にもってくることが。と同時に、スマホゲームやYouTube・SNSを無限に見続けるなど、自分の時間を奪う行為は最小限にとどめること。「やるべきこと」と「やらないこと」を明確にしていれば、もう「忙しくて時間がない。」と言うことも減るのではないのでしょうか。

もう一つ、「人生時計」という考え方を紹介します。仮に人生80年を1日24時間に換算し、今どの時刻を生きているかを確認するもので、24時間は1440分。これを80年で割ると1年は18分。毎年18分ずつ「人生時計」は進むという考え方です。

例えば、午前零時に誕生した子は15歳の時、午前4時30分について、まだ布団の中の時刻。20歳で午前6時、やっと一日が始まる時刻。30歳は午前9時。ただし、午前中の3時間は過ぎるのが早く、あっという間に40歳の正午に。ちなみに、60歳は18時で、これから楽しいことが始まる時間かも（？）このように、皆にはこれからまだまだ「無限の可能性と時間」がありますが、私も含め時間があまり余裕がある時ほど、大事なことをしていないものです。

年末には身体を休めつつも自身の一年間の振り返りをしたかと思います。年頭（新年）にあたっては、大切なこと（やるべきこと）をしっかりと洗い出して、優先順位をつけ取り組むように意識してほしいと思います。

改めまして、保護者の皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。新年という節目を大切に、我々教職員も心機一転しっかりと目標・決意を定めて、気持ち新たに生徒たちの頑張りを全力でサポートして参りたいと考えておりますので、引き続き御理解と御支援を宜しくお願い致します。

## 丙午（ひのえうま）から学ぶ、情報との付き合い方

丙午（ひのえうま）とは、干支（えと）の組み合わせの43番目にあたり、十王（じっかん）の「丙（ひのえ）」と十二支（じゅうにし）の「午（うま）」が組み合わせられた年を指します。「丙」と「午」どちらも火の性質を持つことから、丙午は火の力を象徴する年とされます。特に日本では、江戸時代の八百屋お七の逸話から「丙午に生まれた女性は気性が激しい」（※科学的根拠は全くありません）といった迷信が広まりました。この迷信は長く残り、1966年（昭和41年）の丙午では生み控えによって出生数が大幅に減少しました。人口ピラミッドでも顕著に表れています。（校長がまさにこの年に生まれました）丙午は60年に一度巡る年であり、今年が丙午となります。60年前は、社会全体がその噂に影響されてしまったんですね。

現代では、SNSやインターネットで毎日たくさんの情報が流れています。その中には、事実ではないものや、人を傷つける偏見も含まれています。もし私たちがそれを確かめずに信じてしまったら、誰かを不当に差別したり、間違った判断をしてしまうかもしれません。

だからこそ、情報を見たときには「本当に正しいのか？」と考える習慣を身につけましょう。複数の信頼できる情報源を確認すること、そして自分の頭で考えることが大切です。迷信や偏見に流されず、事実を見極める力を育てることが、これからの時代を生きる皆さんにとって大きな武器になります。

「情報を選ぶ力」は自らを守り、未来を切り開く力です。ぜひ、日々の生活の中で意識してみてください。



